

# これからのまちづくりに向けて 平成19年度移動町長室



移動町長室は、町民皆さんから直接ご意見・ご要望をお聞きし、そこで出された貴重な声をこれからの行政に反映するため毎年実施しています。今月号では、昨年12月に各地区連合町内会を単位として定期開催された、移動町長室に出された主なご意見と回答をお知らせいたします。

は意見・要望などは  
は回答

地区名	開催日	出席者
幾 寅	12月 3日	9名
下金山	12月 4日	23名
北落合	12月 6日	7名
落 合	12月 6日	18名
金 山	12月10日	21名

【幾寅地区】  
町内会からの相談を受けたり、行政からの指導内容を町内会に説明するなど町と地域とのパイプ役として各町内会に町職員を配置してはどうか。役割分担をしながら行政の推進を図るという「参画と協働」の時代だと思つたので、おおいに町職員の力が発揮されるよう「地域担当制度」の導入を検討してほしい。

これからは、地域の皆さんにいろいろな行政の仕事の役割を担っていただかなければなりません。地域からの要求も多様化し、それに行政がお金をかけてすべて応えていくことは、財政的にもその状況にはありません。「自助・共助・公助」という枠組の中で、自助の次に地域で助け合う、地域でできないものを行政

が補完しあうという地方自治の原則を目指していかなければなりません。しかし、高齢化になって活動をやってくれる若い担い手が減ってきた地域もありますので、その場合には行政が地域の町内会活動に積極的に入っていく「地域担当制度」というものを考えながら地域づくりを行つてはどうかということをお内部で検討しているところです。役場職員が地域に行つてお話し合いができればいいという問題ではなく、町内会も含めて問題意識を持つていない職員だけがそこに入つてもなかなか難しい問題でありますので、今後しっかりと内部で議論し、地域の方にも相談させていただきま

【下金山地区】  
街中で車が街路樹を倒したり、家に飛び込むという交通事故があった。新たに金山の特別養護老人ホームに勤務する職員がアパートに入居され、街中に若い人達も増えるので、何らかの対策を地域や町がやらないと何かあつてからでは遅い。道路はカーブになつていて見通しも悪く、高齢の方も増えてきているので、横断歩道の設置を申請するとか、今50キロになつている市街地の制限速度を40キロにするなど、行政として対策を講じてほしい。

市街地での事故が起きている状況でありますので、町や町交通安全協会と地域の皆さんとも話をさせていただきながら、公安委員会とも協議をしていきます。

## 【落合地区】

生活排水が空知川に流れ込んでいる仕組みを改善してほしい。浄化槽や下水道を整備することになれば、自分たちが負担していかなくてはならない部分も出てくるので、非常に難しいが何かいい方法はないか。

合併処理浄化槽や下水道に流さない限り、最終的には川に流れていきます。落合地区は下水道の整備区域になつていません。浄化槽を設置するには個人負担も出てきますが、町の補助制

度もありますのでご利用ください。落合の清流は空知川の源流です。この源流の水質を保つために、ぜひ浄化槽を整備していただくようお願いしたい。

## 【北落合地区】

プラスチックごみの分別が細かくなつた。以前であればプラスチックの表示があればプラスチックごみの袋に入れていたが、細かくなり反対に一般ごみが増えた。まず根本的にごみをつくらない、埋めるものをどう減らしていくのか考えていかなければならないと思つた。表示されていることで分別をしますが、なぜそのなかで理解したときに自分が意識してごみをリサイクルごみの袋に入れるかと思うので、どうして分別するのかを知ることが出来る場を持つてほしいと思つた。

平成19年4月1日から廃プラスチック法という法律によつて、プラスチックごみで「プラ」のマークが付いているものは、マークを付けた会社（販売元）が処

理料金を負担することになりました。このごみを札幌のリサイクル工場へ持つて行き溶かしています。「プラ」のマークが付いていないプラスチックごみは、上富良野町の焼却場で燃やしたり、富良野市で固形燃料になったり、本町の最終処分場に埋めています。分別の区分が変わるたびに苦労しているのは、ご家庭でごみを出される皆さんだと思いますので、わからないことがありましたら建設課までお尋ねください。

## 【金山地区】

鹿や熊の数は決して減つてはいない。もう少し獲つ

てもらわないと農作物への被害が多くて農家はやっていけない。

平成19年度に鹿は578頭、熊は7頭獲りました。鹿は18年度より120頭多く獲っています。有害駆除の期間中の獲れる鹿の頭数は840頭で、20年度は1200頭に枠が広がります。来年も獲る頭数が増えると思つています。頭数を確保していただくよう猟友会をお願いをしていきます。

南富良野高校へ地元の子どもが30名、町外から30名通つている。町外の子どもたちの交通費を助成してまで学校を存続させるのかという話がありますが、逆に言えば外から子どもたちが来てくれるおかげで、南富良野高校も存続していると考えたらお金をかけてもいいと思つています。地域から小学校や高校がなくなると寂しいので、何とか残す方向で頑張つてほしい。

富良野市から生徒が通学するのに交通費を払つて、授業料も免除して通学して

ているところであり、即合併ということではありません。広域連合は合併の入口だと言つてもいいですが、それは思つていませんし合併しますと言つて議論をしていく市町村はありません。

【下金山地区】  
街中で車が街路樹を倒したり、家に飛び込むという交通事故があった。新たに金山の特別養護老人ホームに勤務する職員がアパートに入居され、街中に若い人達も増えるので、何らかの対策を地域や町がやらないと何かあつてからでは遅い。道路はカーブになつていて見通しも悪く、高齢の方も増えてきているので、横断歩道の設置を申請するとか、今50キロになつている市街地の制限速度を40キロにするなど、行政として対策を講じてほしい。

市街地での事故が起きている状況でありますので、町や町交通安全協会と地域の皆さんとも話をさせていただきながら、公安委員会とも協議をしていきます。



もらう、それで南富良野高校を残して何の意味があるのかと言つてしまうのか、それとも30名の地元の子どもたちが南富良野高校に通う場所をつくつていくということが大事ではないのかという議論は必要です。富良野の高校に行けない子どももいる、地元の高校で勉強をしたいという子どももいる、そのために小さい学校ですが残そうという気持ちも大事ではないかと思つています。